

ファンドマネージャーの視点は、水戸ファンドラップの運用担当者が、投資や資産運用に関わる様々なテーマ(国内外のマーケットの話題や注目点、経済指標の見方など)について、わかりやすく解説させていただくものです。

## 米トランプ政権の関税政策を受け、世界的な株安に

- 米トランプ政権は4月2日、注目された相互関税の詳細を公表し、国ごとにかかる関税率が想定以上だったとの受け止めから金融市場のリスク回避姿勢が強まりました。
- その後、中国が米国に対する報復関税を発表したこと等を受け、世界的な景気悪化に対する不安心理が一層高まりました。株式が大きく下落したほか、コモディティ(商品)からも資金が流出しました。一方で、景気悪化懸念の高まりに対して市場の金融緩和の織り込みが強まったことや、安全資産との位置付けから、債券に資金が向かってます。米国の関税政策の行方や、主要国の金融政策の動向が今後の焦点となりそうです。

### ◆水戸ファンドラップ採用ファンド基準価額(価格)動向

資産クラス	採用ファンド	基準価額(円)		騰落率	基準価額(円)	騰落率
		2月末	3月末	3月間	2025/4/8	3月末比
国内株式	DIAM国内株式パッシブ・ファンド	44,255	44,337	+0.19%	40,556	▲8.53%
国内債券	DIAM国内債券パッシブ・ファンド	10,365	10,261	▲1.00%	10,391	+1.27%
先進国株式	DIAM外国株式パッシブ・ファンド	102,514	98,800	▲3.62%	88,159	▲10.77%
先進国債券	DIAM外国債券パッシブ・ファンド	19,885	20,093	+1.05%	19,973	▲0.60%
新興国株式	シュローダー・エマージング株式ファンド(1年決算型)	18,308	18,420	+0.61%	16,221	▲11.94%
新興国債券	エマージング・ソブリン・オープン(1年決算型)	38,372	37,958	▲1.08%	36,519	▲3.79%
ワールドリート	グローバル・リート・アクティブファンド(ラップ向け)	15,524	15,166	▲2.31%	13,674	▲9.84%
コモディティ	DIAMコモディティパッシブ・ファンド	15,464	15,489	+0.16%	14,083	▲9.08%
《ご参考》 ドル・円相場(円/ドル)		150.63	149.96	▲0.44%	146.27	▲2.46%

(ドル・円相場の▲は円高・ドル安)

### ◆運用5コースとも下落

水戸ファンドラップ運用5コースの3月31日~4月8日の間の騰落率(注)は以下の通りです。

運用コース	騰落率(概算値) 3月31日~ 4月8日
積極型	▲6.23%
やや積極型	▲5.30%
中立型	▲4.42%
やや安定型	▲3.55%
安定型	▲2.58%

・3月末比では、国内債券のみ上昇しており、それ以外の7資産(ファンド)が下落しています。株式の下落が大きくなっており、ドル・円相場が円高・ドル安となったことも影響しました。(上表ご参照)。

・運用コース別では、5コースとも下落しており、積極型で▲6.23%となっています。(左表ご参照)。

- (注)左記の騰落率は、水戸証券が試算したコース別の基準価額より算出した概算値です。
- ・基準価額は、2009年3月2日を運用開始日とし、フィーを5万円以下のAタイプ(税込)とした試算値です。
  - ・長期保有割引、リバランス時に発生する税金は考慮していません。

### 《今後の見通し》

●米国による関税強化に対し、当面は各国からの報復措置も予想され、世界的な保護主義の加速や景気減速が懸念されます。一方で、関税引き下げに向けた交渉の動きも出始めているほか、今後、トランプ政権が掲げる減税や規制緩和等のポジティブな政策に焦点が移れば、世界の金融市場を取り巻く不確実性は徐々に解消に向かうと思われれます。

●ドル・円相場に関しては、投機筋の円買い・ドル売りポジションが歴史的な高水準まで積み上がっていること等から、追加的な円買い余地(円高余地)は大きくないと考えます。

### 《運用方針》

●当面は、引き続き市場動向や政策対応の変化を見極めつつ、慎重に投資機会を探るべき局面と考えています。水戸ファンドラップは、今後も中長期的視点に立ち、資産配分の見直しを検討していく方針です。

(出所)Bloomberg、QUICKをもとに水戸証券作成

# 「水戸ファンドラップ」のリスクおよび手数料について

## 【リスクについて】

- ・「水戸ファンドラップ」は、投資一任契約に基づき有価証券等に投資する取引です。運用成績は、投資一任契約に基づき運用される有価証券等の価格変動に応じて変化します。
- ・「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託は、主に株式および債券等値動きのある証券（外貨建て証券は為替リスクもあります）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特にエマージング市場等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えることがあります。したがって、投資元本が保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、運用における損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。
- ・資料に示された過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

## 【手数料について】

- ・「水戸ファンドラップ」は、運用資産残高に応じて、定期的に報酬(手数料)をご負担いただきます。報酬の体系には、「Aタイプ(固定報酬のみ)」と「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」の2つがあり、ご契約の際、お客さまに選択していただきます。
  - ・「Aタイプ(固定報酬のみ)」: 残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大2.090%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。
  - ・「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」: 固定報酬については、残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大1.567%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。成功報酬については、成功報酬評価基準日での収益相当金額に対し11.0%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。
  - ・上記以外に、「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託の信託報酬として、純資産総額に対し最大で1.7908%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。また、換金時の基準価額に対し最大0.5%を乗じた額の信託財産留保額をご負担していただく場合があります。さらに、運用状況に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要になりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。
- ※ リスク・手数料についての詳細は、ご契約に際しあらかじめまたは同時にお渡しする「約款・規定集」、「契約締結前交付書面(A)」、「水戸ファンドラップ契約締結前交付書面」、「水戸ファンドラップ口座約款」、「水戸ファンドラップ投資一任契約約款」、「各投資信託説明書(交付日論見書)」等をご覧ください。

## 水戸証券株式会社

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号  
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

- ・当資料は、当社(水戸証券株式会社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。投資にあたりましては、ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性や完全性、将来の運用成績について保証するものではありません。また、内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

Humanitation—信頼のきずな

